議事概要	
会議の名称	令和6年度第1回長久手市子ども・子育て会議
開催日時	令和6年6月20日(木) 午前10時から正午まで
開催場所	長久手市役所 会議室棟2階 H会議室
出席者氏名 (敬称略)	<p>【委員】 会 長 石橋 尚子 委 員 旭 慎也 委 員 原田 晋 委 員 波田 厚志 委 員 川本 さつき 委 員 古橋 完美 委 員 樋口 ひろみ 委 員 水野 和幸 委 員 鍋島 大慶 委 員 見田 喜久夫 委 員 伊藤 勇気 委 員 柳野 千鶴 委 員 駒越 正美</p> <p>【事務局】 子ども部長 飯島 淳 子ども部次長 近藤 かおり</p> <p>子ども政策課長 出口史朗 同課長補佐兼子ども政策係長 水野 真紀子 同課主任 鈴木 悠平</p> <p>子ども未来課長 柴田 浩善 同課長補佐兼児童係長 伊藤 愁 同課保育係長 大久保 功一</p> <p>子ども家庭課長 遠藤 佳子 同課長補佐(家庭、母子保健担当) 兼家庭係長 鈴木 晶子 同課長補佐(療育支援担当) 榊本 芳樹 同課母子保健係長 今村 知美</p>
欠席者 (敬称略)	委 員 片野直之
傍聴者人数	0人
会議の公開・非公開	公開
審議の概要	1 あいさつ 2 議題 (1) (令和5年度実施) 子育てに関するアンケート調査結果について (2) 第2期長久手市子ども・子育て支援事業計画の成果について ア 子育て施策について

	<p>イ 量の見込みと確保の方策の結果について</p> <p>(3) 令和6年度の事業計画について</p> <p>(4) 国の子ども施策の動向について</p> <p>(5) 第3期長久手市子ども・子育て支援事業計画骨子（案）について</p> <p>(6) 第3期長久手市子ども・子育て支援事業計画策定スケジュールについて</p> <p>3 その他</p>
問合せ先	<p>長久手市役所子ども部子ども政策課</p> <p>電話0561-56-2555</p>

議事録	
市長	あいさつ
会長	あいさつ
	<p>議題(1) (令和5年度実施) 子育てに関するアンケート調査結果について (資料に沿って、事務局より説明。委員の意見は下記のとおり。)</p>
委員	<p>アンケート調査の自由記述欄にて、多くのご意見をいただいたかと思えます。自由記述欄について、概要版に反映させたほうが良いと思えます。</p>
事務局 (子ども政策)	<p>自由記述欄についても、アンケート調査結果の概要版に反映させたいと思えます。</p>
委員	<p>今回の会議資料を確認するなかで、長久手市は、近隣市町に比べ、子育て支援に力を入れており、子ども施策にかける予算も多い印象を受けました。しかし、一方で、アンケート調査結果を確認すると、子育てを行う当事者にとっては、子育て支援が足りていないとの印象も受けました。</p> <p>子育て施設を充実させる他にも、育休退園の見直しや子育て支援センターの対応の改善等、費用を伴わない支援の充実も重要だと思います。</p> <p>子育て支援センター等に訪れた、子育てに励むお父さん、お母さんの話に、スタッフが真剣に耳を傾け、支援につないでいくことが重要だと思います。</p>
会長	<p>アンケート調査結果については、数値に注目してしまう場合が多いですが、「なぜその数値の結果となったか」については、自由記述欄にヒントがあると思えます。</p> <p>自由記述欄も踏まえ、今後の施策につなげていく必要があると思えます。</p>

委員	アンケートの回答者は、母親、父親のどちらが多かったですか。
事務局 (子ども政策)	就学前児童保護者については、約9割が母親、小学生保護者については約8割が母親という結果です。
委員	アンケート調査結果は、どのように活かされるのでしょうか。 例えば、アンケート調査結果から、「共働き世帯」と「長時間保育需要」が増えたことが読み取れます。その結果に対し、保育園の拡充や保育士の充実など、どのように施策に反映されていくのでしょうか。また、いつ頃の政策決定のためのもので、効果が出るのはいつ頃ですか。
事務局 (子ども政策)	今回のアンケートは、令和7年度からの第3期子ども・子育て支援事業計画策定のために実施しております。第3期計画の計画期間である令和7年度から令和11年度までの5年間の次期施策に反映していくことになります。
<p>議題(2) 第2期長久手市子ども・子育て支援事業計画の成果について</p> <p>ア 子育て施策について</p> <p>イ 量の見込みと確保の方策の結果について</p> <p>(資料に沿って、事務局より説明。委員の意見は下記のとおり。)</p>	
委員	現在の育休退園の実数は、把握していますか。
事務局 (子ども未来)	具体的な数値については、集計等が完了しておらず、この場での回答が難しいですが、一定数はいると認識しています。
委員	育休退園については、以前から問題となっていますが、解決に向けた動きはありますか。
事務局 (子ども未来)	育休退園の廃止については、まず2歳児から始めていこうと検討しております。
委員	資料2-1の31番の事業について、長久手市は、独自の保育士の配置基準を設けているとのことですが、具体的に教えて下さい。
事務局 (子ども未来)	「保育園に通う1歳児の保育士の配置基準」としましては、国の基準が、1歳児6人に対し、保育士1人のところ、本市は独自の基準として、1歳児4人に対し、保育士1人という基準を設けております。
委員	計画値に対し、実績値が大幅に上回った場合、限られた予算や人員のな

かでどのように市は対応していますか。

事務局
(子ども未来)

第2期子ども・子育て支援業計画における「量の見込みの計画値」については、国が示している計算式に則り、計画値を算出しております。そのため、計画値と実績値の乖離が生じてしまう場合があります。

想定計画値よりも、多くの需要があった際は、その場で修正し、状況に応じて対応しております。

委員

資料2-2の9番「発達相談業務の充実」の事業について、課題として、「今後、複数の専門職の方を雇用し続け、相談支援体制を維持していくこと」が挙げていますが、その課題の深刻度について教えてください。

事務局
(子ども家庭)

専門職としては、一定数、雇用はできておりますが、一部の方について、正職として雇用ができていません。今後、安定した相談体制を維持していくためにも、専門職は、正職で雇用したいという意向があります。

会長

資料の2-1の事業の評価基準について、計画どおりに事業が実施されていれば「二重丸」の評価との認識で良いですか。

事務局
(子ども政策)

計画どおり、事業が実施されている場合は、「二重丸」の評価としております。

委員

資料2-1の19番「子育て支援アプリ」に関する事業について、きずなネットの登録者は多いのでしょうか。

事務局
(子ども未来)

きずなネットの現在の登録者数を把握していないため、この場でお答えすることができません。ただ、児童クラブと放課後子ども教室については、きずなネットを保護者との連絡ツールとして活用しております。

そのため、児童クラブと放課後子ども教室を利用する保護者の方は、きずなネットを利用されていると認識しております。

【補足事項】

令和6年6月20日時点のきずなネットの登録者数は「8,018名」。

委員

「きずなネット」に加え、「キッズビュー」についても子育てに関するアプリとして活用されており、複雑だと感じることがあります。

事務局
(子ども未来)

2つのアプリの特徴の違いとしては、きずなネットは、あくまで保護者へのメール配信による一方向の連絡ツールですが、キッズビューは、保育園と保護者のやりとりが可能なアプリとなります。

対象区分や機能に合わせて、複数のアプリを活用しております。

議題(3) 令和6年度の事業計画について

(資料に沿って、事務局より説明。委員の意見は下記のとおり。)

委員

キッズビューを利用していますが、非常に満足、感謝しております。アプリへの入力時間と、連絡帳に記入する時間は、さほど変わらないはずですが、「スマホでできる」ことによって、保護者の負担軽減につながっていると感じております。

別件ですが、放課後の子どもの居場所として「ながくてひろば」という事業に約2億円、5年間で10億円ほど予算を投じている中、他の施策が大体その10分の1ほどの予算規模となっています。この「ながくてひろば」の事業については、先行事例等があるのか、もしくは新しくチャレンジされているのか、お伺いできますでしょうか。

事務局
(子ども未来)

金額でいうと「ながくてひろば」の割合が大きく見えますが、その他にも、保育園に対する施設型給付等も行っており、保育関係の予算は市全体の予算の中でも3割ほどを占めています。

「ながくてひろば」のような、放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体型運営については、平成20年代頃から全国的に取組が進められています。一体型運営で有名な自治体としては、横浜が最初に始めたと聞いております。

委員

先行事例があることはわかりましたが、内容としてこういった実施を決められたのでしょうか。

事務局
(子ども未来)

一体型運営の一番のメリットは、今までお互い交流する機会が少なかった、放課後児童クラブと放課後子ども教室の子ども同士の交流が促進されることです。

委員

放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体型と、自由記述欄で非常に多く散見されるトワイライトの違いは、何でしょうか。自分もかつてトワイライトに通っていましたが、放課後児童クラブや放課後子ども教室には行ったことがないので、違いについて気になりました。

事務局
(子ども未来)

トワイライトにはトワイライトスクールとトワイライトルームの二種類あると認識しております。トワイライトスクールは長久手市でいう放課後子ども教室とほぼ同じです。トワイライトは預かりの時間帯によって料金が、変わると聞いております。基本的には、本市が取組む事業と変わりませんが、本市の事業と比べて低額で受け入れているという実態がありま

す。料金につきましては、それぞれの自治体の規模、財政状況によって変わってきます。

委員 「ながくてひろば」について、新たに他の小学校区でも開始する予定と
のことですが、何年度に、どの小学校区で開始する予定でしょうか。

事務局 (子ども未来) 現段階では、明確な回答ができませんが、現在実施できていないところ
としては、西小学校、市が洞小学校、長久手小学校の3校区があります。
うち2校区においては、大規模改修工事等の状況も踏まえ、学校と調整
しているところです。

委員 実施が難しい一番の課題は、多目的棟がないことでしょうか。

事務局 (子ども未来) 一番の課題は、空き教室の確保が難しいことです。また、セキュリティ
や運営時間、個人情報の問題等もあります。各課題について、関係者と調
整し、解決していければと考えております。

議題(4) 国の子ども施策の動向について

(資料に沿って、事務局より説明。委員の意見無し。)

議題(5) 第3期長久手市子ども・子育て支援事業計画骨子(案)について

(資料に沿って、事務局より説明。)

事務局 育休退園について、前回の3月19日の会議でも触れましたが、現在の
制度では、母親が出産で育児休暇をとられる場合、3歳児以上の場合は集
団保育の必要性から、そのまま残っていただくことはできるのですが、お
子さんが0歳・1歳・2歳児の子は、一旦保育園を退園していただくこと
になります。

長久手の場合、入所児童が年々、増えていたため、まずは待機児童を出
してはいけないということで、育休退園を続けてきましたが、令和6年度
に保育園が2つ増え、待機児童が当初申し込みの段階では、解消の見込み
になったので、令和7年度からの育休退園廃止の実施に向けて、計画に盛
り込みたいと考えます。

(委員の意見は下記のとおり。)

委員 子育てする大人を対象とした施策が、目立ちますが、国の指針として示
された、こども大綱のような「子どもの気持ちに寄り添った施策」も非常
に重要だと思います。例えば、夏休み等の長期休暇の際、共働き世帯の子
どもは、子どもの預かり施設にて、広いとは言えない空間で、保護者が働

いている以上の長い時間を過ごす必要があります。そのような状況の子ども
の本音が気になります。

今回、国の指針に「こどもの意見を聴く」と盛り込まれたことに大きな
意味があると思うので、子どもたちが今の社会について、どう思っている
か、ぜひ聞く機会を持っていただきたく、また、その意見も施策に反映し
てほしいと思います。

子どもを産み育てていても、子どもが自ら命を絶つことは現実におこっ
ています。そのため、「子どもを置き去りにしない」ということを、今回
の計画の策定においても期待したいと思います。

会長 こどもの意見を聴くことを大切にして、計画策定を進めていく必要があ
ると私も思います。

他に意見も無いようですが、資料6及び育休退園について、事務局の説
明のとおり進めることとしてよろしいですか？

全員委員 (異議なし)

議題(6) 第3期長久手市子ども・子育て支援事業計画策定スケジュールについて
(資料に沿って、事務局より説明。委員の意見無し。)

その他

委員 今日の議題とは、直接関係ありませんが、部活の民間委託について、環
境が変わることに対し、初めは課題が多いかと思います。学校だけでなく
地域全体で子どもたちを見守っていくことが大切だと思います。

委員 やはり、午後3時から午後6時までの子どもの過ごし方が課題である
と思います。部活時間も含め、親がいない状況で、子どもをどうするかとい
うところで、知恵が絞られ、インフラが整備されているのが現状ですが、
次の段階として、その時間を「いかに充実させるか」が、子どもに対する
一番の投資になると思います。

市として、どのようなビジョンを持っているのかが、市民の、特にファ
ミリー層の幸福度に関わってくると感じます。

共働きの流れに逆らうことは難しいので、放課後の子どもの過ごし方
に関する施策の拡充が、今後の肝になってくると思います。

会長 委員のお話を聞いていると、午後3時から午後6時の子どもの生活を充
実させるための施策が、当市では最も遅れているのかもしれない。

乳幼児についての施策は手厚くなってきましたので、次は小学生の放課
後の過ごし方について、ぜひ、今後とも皆さまと語り合っていきたいと思

います。

事務局
(子ども政策)

本日いただきました皆さまの意見につきましては、第3期長久手市子ども・子育て支援事業計画の策定に反映していきたいと思いを。

それから、この会議の会議録につきましては、手続きを経てホームページに掲載し公開していきますので、よろしくお願いいたします。

本日の会議はこれにて終了いたします。ありがとうございました。